

## 第3章 下関市における夜間景観の主な課題

### 3-1 下関市における夜間景観の主な課題

#### 課題1 | 市民の夜間景観に関する意識・認識を高める

下関市では、地域の特性を活かした景観形成を図るため、下関市景観基本計画等を策定しています。また、関門地域の景観形成を図るための関門景観計画も策定しており、市内全域において良好な景観を形成するための各種政策が実施されています。今後、魅力ある夜間景観を形成するためには、市民や事業者等の夜間景観に対する関心を高めていく必要があります。

#### 課題2 | 安心・安全な暮らしを守る光を整える

国道沿いは、車道、歩道共に十分な明るさが確保されていますが、国道以北のエリアでは、光の量が不足している場所もあります。夜間の散策に不安を感じない安心・安全な明るさを確保するため、連続的な照明の整備が重要となります。

#### 課題3 | 昼間の景観へ配慮を行う

老朽化や経年劣化により退色、剥色した照明器具は、見た目が悪いだけでなく、性能を十分に発揮できず、昼間の景観を損なう要因にもなるため、照明器具の設置箇所、劣化状況への配慮も重要となります。昼間に照明器具が目立たないように隠すなど、昼間の景観への配慮が必要となります。

#### 課題4 | 下関らしさを活かした光を活用する

唐戸市場からあるかぼーとにかけてのウォーターフロントエリアでは、海面に映り込んだライトアップの光を楽しむことができ、下関らしい土地の形状が活かされています。更に、施設のライトアップだけでなく、ボードウォークの手すりに設置された白熱電球の船舶照明、ボードウォークに設けられたポール照明による連続性のある光は、下関らしい景色の重要な要素となっています。また、下関らしさは、土地の形状だけに限らず、関門橋や海峡ゆめタワー、歴史的建築物、近代建築物など、造形の美しい魅力ある構造物が多く集まっていることも要素の一つとなっています。これらの素材や形状の美しさを活かした照明手法を取り入れ、下関らしさを表現することが重要となります。

#### 課題5 | 夜間景観を楽しむ視点場、動線を創出する

夜間景観の整備・演出がなされているエリア、施設がいくつもあり、各施設は徒歩圏内で回遊できる距離ですが、エリアごとに明確な方針がなく点としての整備に留まっています。点と点を結ぶ動線の整備、更には、エリアとしての方針を統一させた面的整備が重要となります。